

国立大学法人 長岡技術科学大学
平成28年度第3回経営協議会議事要旨

日 時 平成28年11月24日（木）15時00分～17時00分
場 所 ホテルニューオータニ長岡（うめ）
出席者 東議長、天羽委員、大貝委員、岡田委員、関委員、谷口委員、鎌土委員、三上委員、横山委員、小松委員、中出委員、大石委員（議事の表決委任による出席池田委員、岸委員、合田委員、五味委員、磯田委員）
陪席者 齋藤監事、滝上監事、福田附属図書館長、阿部長岡市政策監
事務局 総務部長、総務部次長、学長戦略課長、I R・企画課長、総務課長、財務課長、施設課長、研究推進課長、学務課長、学生支援課長、入試課長、学術情報課長、総務課課長補佐、国際課課長補佐、総務課総務係長、総務課総務係員

議事に先立ち、東議長から、平成28年9月6日付けで森委員が経営協議会委員を辞任し、後任として、磯田達伸 長岡市長を任命した旨の報告があった。（任期は平成28年11月9日から平成30年3月31日）

続いて、東議長から平成28年度第2回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 就業規則の改正について

横山委員から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。なお、一部改正予定としているものについては、次回の本会議で報告することとした。

主な質疑応答は以下のとおり。

○就業規則の改正による所要額及び財源はどのように考えているか。また、今回の改正により、事業計画の大幅な変更はないか。

●改正に伴う所要額は20,000千円程度を見込んでおり、運営費交付金を財源とし、予備費等を取り崩して補正予算を編成する予定である。また、今回の改正による事業計画の大幅変更はない。

2. 平成28年度大学運営経費予算の補正について

横山委員から、資料2-1から2-3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。

○今後、人事院勧告等がプラスに働いた場合でも円滑な大学運営を行っていきけるか。

●今までどおりの定員の概念ではなく、全体予算を考慮して人員の見直しを行っていき、産業界から外部資金を獲得する方策を検討している。

○学長の裁量で執行できる予算をできるだけ確保することが望ましい。

○定員超過に伴う国庫納付額が減少したとのことであるが、学生の確保ができなかったということはないか。優秀な学生を確保することは重要なことであり、定員増についても検討してはどうか。

●国庫納付額はこれまでの定員超過率に基づき予算計上してきたが、超過率を抑制する方向で対応した結果、減少したものであり、学生の確保ができなかったものではない。今後、定員増についても検討していく予定である。

○寄附金税制の改正に伴う対応状況はどうか。

●従来あった大学基金を寄附金税制の改正に対応したものに變更し、税額控除対象法人の証明を受けた。寄附金収入の増加の取り組みを行い、自己財源の確保に努めている。

報告事項

1 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について

鎌土委員から資料3に基づき、報告があった。

2 国際技学共同教育研究推進室の設置について

横山委員から資料4に基づき、報告があった。

3 平成29年度概算要求について

横山委員から資料5-1から5-4に基づき、報告があった。

4 平成27事業年度財務諸表の承認について

横山委員から資料6に基づき、報告があった。

5 第2期中期目標期間終了時における積立金の処分について

横山委員から資料7に基づき、報告があった。

6 情報セキュリティについて

鎌土委員から資料8に基づき、報告があった。

7 安全安心社会研究センター特別講演会について

三上委員から安全安心社会研究センター特別講演会について案内があった。